

# 第1回 安全性向上有識者会議

## 議事概要

### 1. 日 時

2016年8月3日（水） 14:00～16:30

### 2. 出席者

<委員>

池田桂子 委員、指田朝久 委員、鈴木和幸 委員、高野研一 委員、  
松田好史 委員、宮川豊章 委員（委員は50音順）

### 3. 議 事

- (1) 座長の選出
- (2) 座長代行の指名
- (3) 中日本高速道路株式会社安全性向上有識者会議運営要領の決定
- (4) NEXCO中日本の概要説明  
(「道路構造物の維持管理」についての概要説明を含む。)
- (5) 「安全性向上3カ年計画」の実施報告及び今後の取組みの概要説明  
(「安全を最優先とする企業文化の醸成」についての概要説明を含む。)

### 4. 議事概要

- (1) 委員による互選により、宮川豊章 委員が座長に選出された。
- (2) 宮川豊章 座長により、高野研一 委員が座長代行に指名された。
- (3) 「中日本高速道路株式会社安全性向上有識者会議運営要領」（資料3）が、原案どおり決定された。
- (4) 「NEXCO中日本の概要」（資料4）及び「道路構造物の維持管理について」（資料5）により、事務局から説明がなされた。
- (5) 「「安全性向上3カ年計画」の実施報告及び今後の取組み」（資料6-1）、「5つの取組み方針」に基づく安全性向上の取組み」（資料6-2）並びに「安全を最優先とする企業文化の醸成について」（資料7）により、事務局から説明がなされた。
- (6) 上記（4）及び（5）に関して、委員による意見交換がなされ、以下のご意見をいただいた。

- これまでの「安全性向上3カ年計画」の成果については、評価する。
- 今後、以下の点に留意して取組みを継続していただきたい。
- ・安全文化にとって、関連会社、協力会社までも含めた一体感を如何に醸成していくかが重要である。
  - ・安全文化の上で、潜在的リスクを如何に見つけ、これに柔軟に対応していくことが重要である。
  - ・全てのリスクがわかっているわけではないことを自覚し、リスクに対して謙虚になって対応していくことが重要である。
  - ・現場社員が過度の負担と感ぜないことも考慮する必要があり、重要なことは、取り返しがつかないことを絶対に起こさないということである。
  - ・平成26年度及び27年度の点検結果を分析し、損傷要因（環境条件等）を推定したうえで、平成28年度以降の点検計画にフィードバックするような仕組みについて検討する必要があるのではないか。
  - ・ご遺族様や被害にあわれた方々に対応している社員が、自らの言葉でご遺族様や被害にあわれた方々のお気持ちを仲間の社員に語っていく、こうした取組みが事故を風化させず、安全意識を継続していく上で有効であると考えてるので、検討いただきたい。
  - ・「育ち」の取組みに係るKPIを検討いただきたい。
  - ・点検の結果も含め、取組みへのプロセスだけではなく、実施状況及び結果についても、できるだけ定量的に、定期的に分かりやすく示してもらいたい。
  - ・高速道路での交通事故が発生した場合の避難の安全性までも考えて対応していただきたい。

以 上